## 鹿児島インテリアスクール等奉仕作業

# 10周年記念 専門校の床張替え

県室内装飾協同組合（安部武理事長）と鹿児島インテリアスクール（田中朗校長）は22日、鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で指導員や訓練生など20人が参加して奉仕作業を実施した。

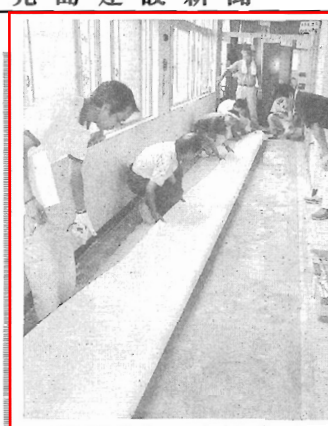
今回の作業は、平成4年に開校した鹿児島インテリアスクールの創立10周年を記念して、指導員や訓練生、卒業生らが集まって、技能検定などで施設利用している同専門校に感謝の意を込めて床張り替えを実施したもの。

材料や道具を持ち寄って集合した参加者らは、まず約30㎡四方のタイルをはぎ取ることから開始。安部理事長や田中校長も陣頭指揮を取りながら1枚1枚丁寧にはぎ取っていた。続いて、寸法を測ったり、カッティングしたり、マットを丁寧にのり付けする作業は指導員の手解きを受けながら作業に従事する訓練生の姿も見られた。

作業は夕方までかかったが、玄関から教室間での廊下や階段の踊り場などはデザイン的にも工夫が見られるきれいな床に仕上がった。

同専門校の鮫島純男校長は「昭和51年に開校以来、玄関や廊下の床は痛みが激しい部分が見られたが、見違えるようにきれいになり感謝している。訓練生も指導員と一緒に技術指導を受けながら生の現場を体験できたのは素晴らしいこと」と語った。

なお同日は、10周年を記念して懇親会も開かれ、来賓や卒業生も多数出席して、思い出話で盛りあがった。



のり付けしたマットを丁寧に敷く参加者＝鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で

## 徳之島建設業協会奉仕作業

# 徳之島3町で道路清掃

亀津・徳之島空港線など6路線を中心に清掃作業を行った。清掃作業は、8月10日の「道の日」に合わせて平成3年から毎年実施しているもので、今年で12回目。

当日は、午前8時前に各自草刈り機やほうきなどを持ち寄り、各町内の現場（徳之島町3班、天城町2班、伊仙町2班）に集合。約30人ずつに分かれ作業に入り、県道沿いを中心にごみや空き缶拾い、雑草伐採を行った。まる1日にかけて各現場で集められたごみは2トンダンプ14台にもなり、

沿道の雑草の除去等を行った清掃作業＝徳之島町の現地で

## 県森林土木協会加世田支部研修会

# 森林土木の意識を高揚

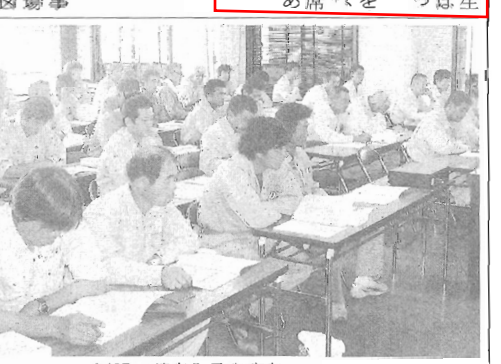
県森林土木協会加世田支部（上東信義支部長）は22日、加世田市の南薩建設業会館で14年度技術研修会を、現場管理に従事している会員ら約50人が参加して歩掛改正・建設リサイクル法の講習や、現場研修などを行い、森林土木事業に対する意識の高揚を図った。

この研修会は、県森林土木協会が主催として、県林務水産部と各農林事務所などの協力で、現場管理者の意識の高揚を図る目的として毎年行われているもので、14年度は、19日から30日まで、県下の各支部で行われている。

冒頭、新谷政昭理事が「この技術研修会は、各々の技術に更に磨きをかけていただくのが目的。研修会で学んだことを、今後の現場に生かしていただきたい」と挨拶し、加世田農林水産事務所の古薗謙次所長も「今後も、治山・林道整備の早期発注に向けて努力していきたい。本日の研修会を、是非とも実りあるものとしていただきたい」と述べた。

その後、管内の森林土木事業の概要と注意事項、歩掛改正、建設リサイクル法、高齢化時代の安全対策と題したビデオの鑑賞などが午前中に行われた。

昼食後には、川辺町の現在整備が進められている現場に向かい、現場管理事務所や、既設個所・施工中個所の現場を見学し、参加者らは緊張した面持ちで熱心に見入っていた。



説明に聴き入る出席者＝加世田市の南薩建設会館で

## 曽於支部研修会——

# 歩掛改正等を解説

県森林土木協会曽於支部（岩切重則支部長・㈱岩切組）は20日、曽於郡大隅町の大隅建設会館で14年度森林土木技術者研修会を開いた。支部会員36社64人が熱心に受講した。

冒頭、岩切支部長が「近年、森林土木事業は新工法、新材料等新しい技術が採用されています。すばやく対応する技術力をこの研修会で勉強して

全対策を徹底して災害事故防止に努めていただきい」と激励。田原健大隅農林事務所長は「公共工事の入札・契約の透明性、公平性が求められ、また産業廃棄物の適正処理等も求められるなかで、施工能力・技術力の取得や向上をお願いします」と挨拶。

午前中は、学科研修があり、県林務水産部工事監督員、林業技術員と大隅

て事業の概要及び注意事項、歩掛改正と建設リサイクル法について講義。

安全教育ビデオを映写して安全対策を促した。

午後は、現場研修を行い、復旧治山事業で川畑建設㈱が施行中の現場を視察。検討討論も行われた。

支部会員64人が出席して開かれた研修会＝大隅町の大隅建設会館で

## 肝属支部研修会——

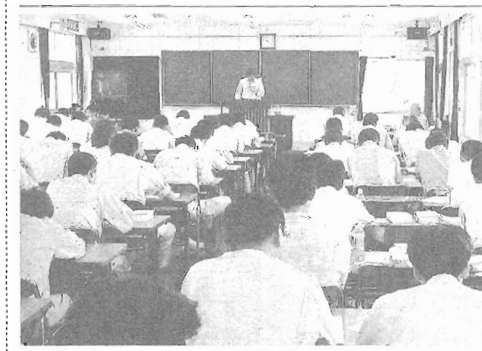
# 事業の多様化に対応

県森林土木協会肝属支部（久木田徳二支部長・㈱久木田組）は21日、鹿屋市の肝属建設会館で14年度森林土木技術者研修会を開いた。支部会員36社70人が最後まで熱心に聖講した。

初めに、久木田支部長が「数年実施しているこの研修会は、森林土木事業の概要や設計積算施行等、多様化に対応するため実施されています。昨年度の調査結果と歩掛の改正、建設リサイクル法関係について研修したことを今後の現場で役立ててほしい」と挨拶。外村博美県鹿屋農林水産事務所森林土木課長が挨拶して研修会が行われた。

午前中は、学科研修があり、農林土木課長や技術管理係、工事監督の職員らがテキストを使って概要及び注意事項等、歩掛改正と建設リサイクル法や管理基準について講義。

午後は、高齢化時代の安全対策についてビデオ上映が行われた後、現場研修を行い、林地荒廃防止事業で㈱蒲地組が施工した現場と、予防治山事業で㈱浅井建設が手がけた現場を視察した。



歩掛改正で講義が行われた研修会＝鹿屋市の肝属建設会館で

総合気象観測装置
気象観測器
風向風速計
㈱ゼネラルエンジニヤリング
鹿児島市錦江町8－6
☎099-223-6386